

『中央通りで年末風景がお目見え！』

中央通り会（山下知美会長）とNPOおおさき（松元俊郎理事長）が12月27日(土)、中央通り商店街で、餅つき・手打ちそば体験を実施しました。そばは粉の状態から水加減を考えながら、こねて伸ばしたものを細く切り、湯がくまでの全てを体験し、餅つきは、かまどで米を蒸し、石うすと杵でつきあげ丸めるまでの全ての工程を体験することができました。

できあがった200食のそばと餅は、参加した子どもたちや買い物客に振る舞われ、主催した山下さんと松元さんは「今後も、このような商店街活性化と併せて、古来の伝統行事を伝えていきたい。」と話されていました。



『感謝の気持ちでいっぱいです！』

1月8日(木)、今年も大崎中学校の図書館にある『春田文庫』に41冊の新しい本が来ました。

これは、千葉県船橋市に在住の春田嘉文（71歳・益丸出身）さんが、昭和52年から始めたもので、今年で32年目を迎えました。この間に蓄えられた本の総数は、なんと1,371冊にのぼります。

寄贈式では、生徒を代表して生徒会長の神野貴大君が「最近では、子どもの読書離れなどが言われていますが、春田さんからいただいた1,371冊の本のおかげで、大崎中学校では本を読む人が多くなっています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」とお礼のことばを述べました。

『ポスターコンクールで県知事賞受賞！』

今年で36回目を迎える『J A 共済鹿児島小・中学生交通安全ポスターコンクール』の表彰式がJ A 鹿児島会館大ホールで行われ、野方小学校3年生の森重圭一郎君が270校2,546点の応募作品の中から、最優秀賞の県知事賞を受賞されました。

森重君は「メールをうちながら車の運転をしている人がいるので、このポスターを描きました。僕のポスターを見て、皆が気をつけてくれるといいなあと思います。」と話してくれました。

なお、ポスターコンクールの入賞作品は平成21年2月17日(火)から24日(火)まで、鹿児島県歴史資料センター黎明館に展示されますので、ぜひご覧ください。※23日（月曜日）は休館日

